

学校教育目標	学びあい 認めあい 支えあい 夢をはぐくむ あいざわっ子 【知】自ら考え 学び続ける子を育てます 【徳】自分も 周りの人も 大切にすることを育てます 【体】進んで 健康的な生活をする子を育てます 【公】自分の役割を考えて 行動する子を育てます 【開】目標に向かって ねばり強く取り組む子を育てます			
	創立 54 周年 児童生徒数: 2296 人	学校長 野口みか子 主な関係校: 二つ橋小学校 東野中学校	副校長 井上文裕	学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力	二つ橋小学校 東野中学校	夢や目標をもち自分らしさを発揮しながら、主体的、協働的に社会を生きぬこうとする子ども ○ピアサポートトレーニング、チャレンジタイムにおける中学生リーダーと児童との交流 ○小中合同授業研究会、校内授業研究会等における中学校教員と本校教員との交流 ○小中連絡会の定期的開催による情報共有と一貫した児童生徒指導の実践 ○育成する資質・能力を検討し、小中一貫カリキュラムをまとめる。各教科の指導

中期取組目標 学校教育目標を実現するために「だれもが安心して、活気のある、笑顔あふれる学校づくり」を目指します。 ○職員が主体的に学校運営に参画し、互いに連携・協働し合い、活気にあふれた学校運営組織を確立します。 ○一人ひとりの子どもが認められ安心して生活・学習できるように、児童理解・児童支援体制、特別支援教育を充実していきます。 ○自分で考え、判断し行動できる力をつけます。 ○小中一貫推進ブロックや地域、家庭との連携を更に深め、信頼される学校づくりを推進します。
--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 評価・学力向上	①低学年、中学年、高学年と段階的なステップを踏み、学習してきたことをもとに、分かる喜びを味わえるようにする。②話し合い活動や身に付けてきた知識をもとに、様々な考え方や見方を共有したり、共に解決したりする良さを実感できるようにする。
豊かな心 担当 人権・いのち・道徳	①「いのちの学習」の取組みを保護者に知らせ、公開授業への参加を増やすと共に、家庭との連携を図る。②全教職員が年間計画をもとに「いのちの学習」や「道徳」の授業、「人権」や「ピアサポート」の取組を推進する。また、児童が多面的・多角的な見方ができるような話し合いの手立てを講じる。
健やかな体 担当 体育・保健	①規則正しく生活する態度を引き続き養う。睡眠や朝食に加えてスマホの使用時間についても考えさせる。②体力テストや生活実態調査の結果、いのちの学習の内容を保護者と共有し、生活習慣の改善を図る。③主体的に課題を解決することで運動する楽しさを味わえるような授業マネジメントをする。
児童生徒指導 担当 児童指導	①相沢スピリッツを全教職員が共通理解し全校で一貫して指導することを継続して行う。②日常的に情報交換を行い、職員全体で共有する場を設けて児童理解や対応を共有していく。また、アンケートやアセスメント、コンサルテーション等を行い、様々な視点から問題行動の早期発見・解決につなげる。
教育課程学習指導 担当 重点推進	①一人ひとりが本時のめあてをもち、課題解決から振り返りまでの活動を行い、身に付いた力を認識できるよう、授業プランの改善を図る。②中学校ブロックで設定した資質・能力を効果的に身に付けるために、各教科・領域を横断的に関連付けたカリキュラムの実施・見直し・改善を継続的に進める。
特別支援教育 担当 特別支援コーディネーター	①コーディネーター、学年主任、担任、スキルアップ担当、国際担当で児童に関する情報を交換し、共有する。適切な支援の在り方を検討し、一人ひとりの課題に合った長期的な支援を目指す。②必要に応じて学校カウンセラー、SSWによる児童の見取りを依頼し、関係機関との連携を継続する。
安全管理 担当 防犯・安全	①登下校の約束について全職員で共通理解を図る。特に下校指導では、職員の動きを確認する。②避難訓練、不審者対応訓練、交通安全教室など、様々な内容の防犯・安全に対する意識を高めるように計画していく。必要に応じて関係機関との連携を図る。③施設設備の安全点検
いじめへの対応 担当 児童指導	①情報交換により早期発見・解決に努める。②アンケート等を活用し児童の実態把握に努める。③いじめ防止対策委員会で情報交換、対策の協議を行い、必要に応じて臨時のいじめ防止対策委員会を開き迅速な対応をする。④こども会議、いじめ防止教室等を通して、いじめを許さない風土を作る。
人材育成・組織運営 (働き方改革) 担当 教務	①外部組織だけでなく、校内の人材を生かしたりお互いに学び合ったりする研修を企画し、教員全体の指導力向上につなげる。 ②各学年で教科担任制を推進し、より工夫された授業を実践すると同時に、授業準備の負担をへらす。教育課程の見直しはSDGsを中心に引き続き行い、教科横断的な学習を進める。